

■米国：民主党の連邦議会下院議員、米国産天然ガス輸出禁止法案を議会へ提出

連邦議会下院のエドワード・マーケイ議員（民主党、マサチューセッツ州）は2012年2月14日、米国産天然ガスの輸出を禁止する2法案を下院議会へ提出した。法案の一つは、2025年まで連邦エネルギー規制委員会（FERC）によるLNG輸出基地の建設承認を禁止するものであり、もう一つは、同じ下院のラッシュ・ホルト議員（民主党、ニュージャージー州）と共同で提出された法案で、国有地における輸出を目的とした天然ガスの採掘やパイプラインの建設を禁止するものである。本法案は天然ガス輸出により国内価格が上昇するのを防ぎ、米国産業の競争力を維持し、国民の生活を保護するものであるとしている。ただし、現在共和党が多数を占める下院を本法案が通過するのは困難であるとみられている。